

しろいし



2020
冬
第196号

市議会だより



[表紙写真]

令和元年11月23日、市議会議場を会場に、市内全4校の中学生を対象とした「白石市中学生議会」を開催しました。

- 2～3P 12月定例会の概要・審議した議案
- 3P 議案の賛否一覧・意見書
- 4P 予算審査特別委員会
- 5P 常任委員会
- 6P 討論
- 7～12P 市政に対する一般質問(10名)
- 13P 白石市中学生議会
- 14P 意見交換会のお知らせ・編集後記



12月定例会

一般会計補正予算など21議案を可決

令和元年12月定例会は、12月6日から12月19日までの14日間の日程で開催されました。市長提出議案は、専決4件、条例等6件、予算5件の計15件でした。

定例会初日、第75号議案から第78号議案が提案され、採決の結果、全会一致で承認しました。2日目、議案質疑が行われた後、予算の5議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。その他の議案は、2日目に表決まで行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。また、定例会前までに受理した請願1件（請願第1号）については、厚生文教常任委員会へ審査が付託されました。

一般質問は、12月17日と18日の2日間で、10名の議員が質問を行いました。定例会最終日の本会議において、委員長報告を行なった後、採決の結果、第85号議案から第89号議案は、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

請願第1号については、委員長報告を行なった後、討論が行われ、採決の結果、賛成者多数で採択となりました。

また最終日に、市長提出議案4件（第90号議案から第93号議案）が追加提案され、質疑を経て、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

同日、議員提案による議案1件（議提第3号）が上程され、提出議員による提案理由の説明を経て、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎財産の譲渡について

食品工場に供するための施設用地として購入したいとの申し出に対し、地元企業の支援及び雇用の創出、地域の活性化に資するなど、公共的目的に沿うことから、土地を譲渡するものです。

○譲渡物件

旧花と鳥とのふれあいの公園

○地積

5千884.30㎡

○譲渡価格

3千380万円

○譲渡の相手方

株式会社ニチレイフーズ

○譲渡後の目的

工場用地

予算

◎令和元年度白石市一般会計補正予算(第5号)

議案番号	件名	審議結果
第75号	市長提案 専決処分の承認を求めることについて専決第12号（令和元年台風第19号による災害被害者に対する白石市市税等の減免に関する条例）	承認
第76号	専決処分の承認を求めることについて専決第9号（令和元年度白石市一般会計補正予算）	承認
第77号	専決処分の承認を求めることについて専決第10号（令和元年度白石市水道事業会計補正予算）	承認
第78号	専決処分の承認を求めることについて専決第11号（令和元年度白石市下水道事業会計補正予算）	承認
第79号	財産の譲渡について	承認
第80号	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	承認
第81号	白石市水道給水条例の一部を改正する条例	承認
第82号	指定管理者の指定について（白石駅東口駐車場・銚子ヶ森駐車場）	承認
第83号	指定管理者の指定について（白石市子育て支援・多世代交流複合施設）	承認
第84号	指定管理者の指定について（白石市スポーツセンター）	承認
第85号	令和元年度白石市一般会計補正予算(第5号)	承認
第86号	令和元年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	承認
第87号	令和元年度白石市介護保険特別会計補正予算(第3号)	承認
第88号	令和元年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	承認
第89号	令和元年度白石市水道事業会計補正予算(第3号)	承認
第90号	白石市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	承認
第91号	白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	承認
第92号	白石市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	承認
第93号	令和元年度白石市一般会計補正予算(第6号)	承認
第3号	議員提案 「ライドシェア」に関する意見書	承認
第1号	請願 白石市第一幼稚園休園の白紙撤回並びに次年度年少組園児募集の即時再開に関する請願	採択

12月定例会で審議した議案

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ3億707万7千円追加し、予算総額を160億7千270万6千円とするものです。

主な内容は次のとおりです。

○ふるさと納税推進事業

4千785万9千円

○小規模保育事業所設置事業

4千725万円

○災害廃棄物処理事業

1億5千967万2千円

○白石川サッカー公園トイレ新設事業

480万円

◎令和元年度白石市一般会計補正予算(第6号)(定例会最終日提案)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1億8千240万7千円追加し、予算総額を162億5千511万3千円とするものです。

人事院勧告に準拠した給与改定に係る人件費、ふるさと納税寄附金に対する返礼品送付等の支援業務委託料及び台風19号により被災した農業者等に対して支援するための補助金などの費用を計上しています。

本会議質疑より

◎財産の譲渡について

【質疑】今回の土地の譲渡について、どのような算定根拠に基づき譲渡価格を算出したのか伺う。

【答弁】当該土地の筆ごとに算出される固定資産税仮評価額を基礎としており、実勢価格は、その固定資産税仮評価額の70%で割り戻すことにより算出されるが、この額から樹木やトイレなど構築物の解体費用を差し引いた額を譲渡価格としたものである。

◎令和元年度白石市一般会計補正予算(第5号)

【質疑】ふるさと納税推進費について、寄附額が見込みを上回ることから、補正予算が計上されているが、寄附額が増えた理由をどのように考えているのか伺う。

【答弁】要因としては、スイーツ部門に力を入れているところ

が非常に多くの割合で選ばれているが、スイーツ関係だけで全体の73%を占めており、そのほか精米、日本酒という順番になっている。

寄附額の金額帯についても、当初スタートした時は1万円であったが、これまでの取り組みにより、1万円から12万円までさまざまなコースを充実させたことも要因のひとつと考えている。

また、今回の台風19号被害に対し、11月25日現在の速報値で、合計410万円にわたる台風被害に対しての緊急募金として、ふるさと納税を活用いただいたという点である。



ふるさと納税とは？

「納税」という名称ですが、自分が応援したいと思うふるさと(地方公共団体)へ「寄附」ができる制度です。

寄附金のうち2千円を超える部分は、所得税と住民税の控除が受けられます。ただし、所得等に依りて一定の上限があります。

意見書

定例会最終日(12月19日)に議員提案として次の意見書が上程され、採決の結果、全会一致で可決され、意見書は関係機関に送付されました。

◎「ライドシェア」に関する意見書(概要)

タクシー事業は、地域公共交通として地域住民の足、交通弱者の交通手段として重要な役割を果たしているだけでなく、地域公共交通の責務を果たすべく努めている。

「ライドシェア」と称する白タク行為は、事業主体が運行管理や車両整備等の運行に関する責任を負わず、自家用車のドライバーが運行責任を負う形態を前提としている点に最大の問題があり、地域公共交通機関たるタクシー事業の根幹を揺るがすものである。

よって、「ライドシェア」を認めることのないよう、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に意見書を提出しようとするものである。

第438回 市議会定例会(12月19日)

意見が分かれた議案の賛否一覧

Table with columns for item name, council member name, decision result, and 18 council members (1-18). Row 1: 請願第1号 (白石市第一幼稚園休園の白紙撤回並びに次年度年少組園児募集の即時再開に関する請願). Decision: 採択. Members 1-18: O, O, O, O, O, O, O, O, 議, O, O, X, X, O, X, X, X.

※「O」⇒採択に賛成した議員、「X」⇒採択に反対した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない

予算審査特別委員会

第85号議案・令和元年度白石市一般会計補正予算(第5号)から第89号議案・令和元年度白石市水道事業会計補正予算(第3号)までの計5議案について、定例会2日目(12月10日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・菊地忠久、副委員長・角張一郎)は、12月11日に審査を行い、すべての議案について、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和元年度白石市一般会計補正予算(第5号)

民生費

〔質疑〕子育て支援対策臨時特別基金特別対策事業費補助金として4千725万円が計上されている。

この補助金は、令和2年4月に小規模保育園の開園を予定している事業者へ助成することのことだが、公立保育園との違いはあるのか。

〔答弁〕今回、予定している小規模

〔質疑〕台風19号被害に遭った家屋の解体業務委託料につい

衛生費

入園の基準については、現行の保育園と同じく、保育の必要性がある者から順番に入園が可能となる。また、保育料に關しても、現行の保育園に準じて決まるものとなっている。

〔質疑〕焼失した白石川サッカー公園トイレの新設工事費について、概要を伺う。

土木費

〔質疑〕焼失した白石川サッカー公園トイレの新設工事費について、概要を伺う。

〔答弁〕これまでのサッカー公園のトイレは、大便器2つ、小便器1つ、用具庫1室のほか、外に簡易トイレ2基を置いていたが、再建に当たっては、洋式便器4つ、小便器1つ、用具庫1室の新設を計画している。

教育費

〔質疑〕学力向上プロジェクト事業委託料について、従来の取り組みの追加分なのか、それとも新たな事業委託として計上しているのか。

◎令和元年度白石市介護保険特別会計補正予算(第3号)

〔質疑〕新規の要介護認定調査申請件数が増加したことから、追加で要介護認定調査委託料が計上されているが、現在、市内の要介護認定者数はどのくらいいるのか。

〔質疑〕八宮配水池バイパス管設置工事について、断水のないようにバイパス管を設置するという説明であるが、その詳細を伺う。

〔答弁〕八宮配水池は1千立方メートルの容量がある配水池であり、三住水源から水を引き、八宮地区をはじめ、福岡地区の一部に給水している。

現在、八宮配水池は、配水池へ水を入れる際に制御するフロート弁が破損しており、本年8月に応急修繕を行っているが、その状態が続いている。

これを新しい弁にするためには、断水して交換する必要があるが、その場合、断水範囲が非常に大きくなることから、これを回避するためバイパス管を設置し、その後、フロート弁を交換しようとするものである。

て、業務の開始時期などのスケジュールを伺う。

〔答弁〕スケジュールについては、まず、家屋解体に関する実施要綱を12月10日付で施行している。

その要綱に基づき被災者から申請書を受理し、現地調査等を行なった後、解体となるが、公費解体の場合、入札の間も必要となることから、解体工事の開始は年明けを予定している。

〔質疑〕平成30年度末現在の認定状況において、2千66人となっている。

◎令和元年度白石市水道事業会計補正予算(第3号)

〔答弁〕今回の予算は、来年4月に実施する学力調査に係る問題冊子など資料作成のための経費となっている。

〔質疑〕各小学校補修工事費として430万円が計上されているが、その内訳を伺う。

〔答弁〕今回の予算は、全て白石第二小学校の工事費として計上している。

常任委員会

定例会2日目(12月10日)に提案・付託された請願第1号について、12月13日の常任委員会で審査を行いました。

委員会では、紹介議員(大野栄光、高子秀明)と提出者(白石第一幼稚園を残す会代表 正田秀應氏)から請願の趣旨等の説明、教育委員会から休園に係る考え等の説明を受け、それぞれ質疑を行いました。質疑終了後、討論が行われ、採決の結果、賛成者多数で採択となりました。

審査の中で議論された主な内容は次のとおりです。

厚生文教常任委員会

- 委員長 佐藤 秀行
- 副委員長 平間 知一
- 委員 佐藤龍彦・伊藤勝美
- 沼倉啓介・佐久間儀郎
- 四竈英夫・高子秀明
- 松野久郎

白紙撤回並びに次年度の年少組の園児募集の即時再開とその周知を請願するものです。

◎白石市第一幼稚園休園の白紙撤回並びに次年度年少組園児募集の即時再開に関する請願

次年度(令和3年3月31日)

をもっての白石市第一幼稚園の休園決定に対し、白石第一幼稚園を残す会は市へ異議申し立てを行うにあたり、市議会にも取り上げてもらうため、白石市第一幼稚園休園の

意図を受けた後に休園を一年

延期したことや、行政と家庭は両輪であると説明しているにもかかわらず、ヒアリングやアンケートは行わないということに矛盾や疑問が残る。

そういう矛盾などが起きないよう、多角的な意見を探り上げていただき、検討し直していただきたいと考える。

●教育委員会への質疑

【質疑】検討から休園の決定、保護者・関係者への告知まではたった10カ月のことであった。なぜ、もう少し早い時期にお知らせすることができなかったのか。

【答弁】市立幼稚園の就園児数が両園とも定員の50%を下回ったのは昨年度からであった。50%を上回る状態での1園休園は定員超過となることから、検討は昨年10月頃から開始したところである。

また、休園という選択を行った後も、単に1園を残すのではなく、幼児教育無償化を迎えても選んでいただけの幼稚園を目指すため、給食の提供や保育の時間延長といった付加価値を付けるための検

討・調整を行なった結果、この時期になってしまったという経緯がある。

【質疑】教育委員会で話し合われ、このような重大な決定がなされる時に、なぜ保護者などへ意見を聴取する機会を設けなかったのか。

【答弁】役員には、一定程度ご説明させていただいており、また、公式ではないが、保護者にも個別に機会を設け、直接ご意見をいただいた経緯はある。

【質疑】石巻市大川小学校津波事故における最高裁判所の決定を非常に重く受け止め、園児の安全確保、さらに防災の観点から平屋建てである第二幼稚園を残すべきと判断したとの説明だが、なぜ、事前に保護者や関係者に対し、その話をする機会を設けなかったのか。

【答弁】大川小学校の裁判を重く受け止めてはいるが、最高裁の判決は本年10月まで係争中だったことから、8月の時点で説明を控えており、大きくは触れなかった。

第438回 市議会定例会厚生文教常任委員会 (12月13日) 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	委員氏名	審査結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			佐藤龍彦	伊藤勝美	沼倉啓介	平間知一	佐久間儀郎	四竈英夫	高子秀明	佐藤秀行	松野久郎
請願第1号 白石市第一幼稚園休園の白紙撤回並びに次年度年少組園児募集の即時再開に関する請願		採択	○	○	○	○	×	×	○	委	×

※「○」⇒採択に賛成した委員、「×」⇒採択に反対した委員、「委」⇒委員長のため表決に加わらない

※厚生文教常任委員会は議員9人で構成される

討論

◎白石市第一幼稚園休園の白紙撤回並びに次年度年少組園児募集の即時再開に関する請願

定例会最終日(12月19日)に行われた討論の主な内容は次のとおりです。

反対 松野 久郎

近年の少子化に伴い、本市においても出生数、幼稚園の園児数は年々減少している。

幼児教育の充実や保護者ニーズに配慮するため、2園のうち1園を休園とすることで、預かり保育の充実や給食の提供などが可能となることから、園内環境をさらに充実することができると考える。

第二幼稚園の園舎を取り巻く環境については、園舎は平屋建てであり、園内における安全確保や防災上の観点から、有事の際において、より安全

に避難できるという利点が挙げられる。

一方、保護者や関係者への休園決定までの説明については、プロセスに欠けていたことは否めないが、今後も引き続き丁寧な説明や話し合いの場を設けていただき、心配事や疑問点をなくすことで移行できるようお願いする。

幼児教育については、集団確保が困難な幼稚園では主体性や社会性を身につけていく

ことが危惧されていることから、さらなる教育の充実を図るために、適正規模の園にするのが求められているものである。

以上の理由からこの請願の採択に反対する。

賛成

沼倉 啓介

反対

菊地 忠久

数4千585名という数字に示されている。

ここは起案をされた時点まで差し戻し、お互い関係する方々が手に手を取り合って最善の結論を模索すべきものと考え

る。大きな物事に向き合う際の必要不可欠な事柄は、関係する保護者などへの理解を踏まえ

た上で決定するというプロセスを大事にすべきである。これらの事柄が最終的に結論を求めるとき、お互いの考えをぶつけ出して最後の決定に至る、それこそが将来の子どもたちのために必要なことではないかと考える。

以上の理由からこの請願の採択に賛成する。

さまざまに休園にしなければならぬ背景等が述べられ、中には理解できるものも多々あるが、起案から決定に至るプロセスについて、拙速過ぎる

と感じられる物事の進め方は理解できず、それらが署名人

とから、2園を1園にすることを保護者ニーズに応え、待機児童の解消に大きく貢献するもの

と考える。今回の件は、よりよい幼児教育環境を図るため、スピード感を持っていち早く対応しよう

とした結果であり、現状維持に努めるのではなく、教育環境を模索し、教育の充実を図り対応していくことは、教育行政の責務である。

また、1年間休園を延長とする決定がなされたことから、今後の1年を通じ、保護者とよく話し合う場面を持ち、安心して1園体制に移行できる

よう望むものである。どちらを休園とするかにおいて、第二幼稚園の敷地面積が

第一幼稚園の1.6倍あること、第一幼稚園が2階建てなのに対し、第二幼稚園は平屋建てであり、少子化にもかかわらず増加傾向にある配慮を要する園児に

対しては平屋建てのほうが好ましいという教育委員会の説明は合理的で正しいと判断する。

白紙撤回は問題の先送りであり、やむを得ず第一幼稚園を休園とするものの、第二幼稚園の1園体制とする最大の理由は、保護者ニーズに応え、子どもたちにとってよりよい教育環境とするためのものであることから、それが最善であるとの判断を下した教育委員会の決定を支持する。

以上の理由からこの請願の採択に反対する。

定例会最終日(12月19日)に請願第1号が採択されたことから、小川議長ほか副議長、厚生文教常任委員会正副委員長同席のもと、山田市長並びに半沢教育長へ「議決請願送付書」が提出されました。



議決請願送付書提出の様子

市政に 対する 一般質問

10名の議員が質問

12月定例会の一般質問は、12月17日・18日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

高子 秀明 台風19号の影響について

四竈 英夫 台風19号被害について

佐藤 龍彦 水門の管理について

佐久間儀郎 タイムライン(事前防災行動計画)について

松野 久郎 農山漁村再生可能エネルギー法の活用について

伊藤 勝美 今後、刈田綜合病院をどのように支えていく方針なのか

菊地 忠久 関係人口について

森 建人 台風19号について

佐藤 秀行 旧白石衛生センター第二事業所について

大森 貴之 避難場所について

他 他 他 他 他 他 他 他 他 他

台風19号の影響について

高子 秀明



〔質問〕台風19号の甚大な被害を受けた農地について、来年度に作付不能な農地(水田・畑・果樹園・花卉など)は把握しているか。

〔答弁〕農林課長「農林課に被害申告があった261件の現地調査を行なっている。
なお、共済組合から11月末現在で報告を得ている作物被害に関しては、水稲が31件、143筆の被害申告があり、被害面積は16.703ヘクタール、園芸が10戸、ビニールハウス12棟の被害申告があり、被害面積は309平方メートルとなっている。〔質問〕市内各地の農家の方々には、河川の氾

濫により農地に土砂やプラスチックごみなどが流入し「来年から作付けしない」とおっしゃっている方もいる。
耕作放棄地が増え、本市の農産物の収穫量減の懸念があるが、所見を伺う。

〔答弁〕市長「農地等についても甚大な被害が発生したことは十分理解しており、地元国会議員、県議会議員にも、一日も早い農地復旧に関して力強く要望、要請をしている。

また、実質来年1月から国の査定となるが、その査定を受け、国の支援を受けることが農家の復旧にとって非常に重要だと思っていることから、強力に推進できるよ

う、これからも全力で努めていきたい。

〔質問〕避難所に関して、道路の冠水のため、事の大きさに気付いたときには指定避難所に向かうことができず、不安と焦りで何をしたらよいか分からなくなつた市民も多い。

当事者などからも避難所に関して何とかならないのかとご意見が寄せられている。今後、大雨の予測がある場合、避難所設置に関して改善が必要と考えるが、本市の意向を伺う。

〔答弁〕市長「今後このような雨が降った場合、同様の被害の恐れがあることから、今回の被害を教訓に、初動期における避難所開設場所については、白石市防災会議にて検証を行い、地域防災計画に反映させていく。

〔その他の質問〕白石市中学生議会の開催における成果について

◎本市の教育現場の状況について

況について

台風19号被害について

四 電 英 夫



〔質問〕台風19号により本市は甚大な被害を被った。

今回の災害を振り返り、その対応を伺う。

〔答弁〕〔市長〕台風19号は大型で強い勢力との情報があったことから、10月10日に災害対策本部の設置・対応について協議した。

各地区での避難所開設準備や住民への注意喚起、消防団による警戒、ライフラインに被害が生じた場合の対応確認、水門の調整など、災害を想定した準備を行うとともに、台風接近後は、地域防災計画に定める基準に基づき、避難勧告の発表などあら

上、小集団の中による個性の発揮などの狙いがある。

小原小・中学校では「小原学園」として令和2年4月から新たな学校経営を取り入れたいとしているが、本市の考えを伺う。

〔質問〕国道113号は通行止めとなっており、通勤通学、物流、ホテル・旅館等のサービス業は大きな打撃を受けている。復旧について、どのような取り組みをしているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕道路管理者である大河原土木事務所に早期復旧を要請するとともに、地元国会議員、国土交通大臣

政務官にも現状を訴え、早期通行再開を要望している。

◎小規模特認校（小原小・中学校）の学校経営について

〔質問〕小規模特認校とは学区外からでも入学できる制度であり、個人指導による学力の向

特認校制度は、個別指導の充実や地域との連携などにより、成果を上げていると認識しているが、令和2年4月より小原小・中学校を小学校併設型中学校として再スタートさせ、小中一貫教育制度を導入すべく準備を進めている。

さらに、教育委員会としては、同校の特色である地域との連携を発展させ、学校運営協議会制度（コミュニティ

スクール）の導入についても準備を進めているところである。

◎仙南地域広域景観計画について

水門の管理について

佐 藤 龍 彦



〔質問〕本市の水門の管理状況を伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕本市の水門管理状況については、市が管理する水門のほかに、農業用水として白石市土地改良区及び水利組合などの受益者で管理している水門がある。

市が管理している主な水門については、福岡蔵本地区の白石川から館堀川・沢端川系統で市内に流入する水門がある。

特に大雨が予想される場合については、水位の上昇を抑えるために職員が開閉等の作業を行なっている。

〔質問〕水門の管理の課題について伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕水門の老朽化への対応や機能維持の課題もあるが、日常管理として、大雨時などの水門の適切な判断による対応が求められている。

特に、急激な豪雨の場合の迅速な対応が課題となっているため、担当課では夜間・休日でも水門操作ができるように、当番制を設けて対応している。

〔質問〕今回の台風19号に関し、水門についてどのように対応されていたのか伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕今回の台風19号は、あらかじめ相当量の降雨が予想されていたことから、前日の10月11日に課内で打ち合わせを行い、水門の調整も含めた対応について確認している。

◎市政懇談会について

水門の開閉については、雨が降り始めてからの10月12日午前3時には水門調整を完了し、その後もパトロールを実施して出水状況の確認を行なった。

〔質問〕台風接近など緊急時に、本市は今後どのように対応していく考えなのか伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕緊急時に備えた対応については、日ごろの維持管理と体制確保が重要であると考えている。引き続き、県の防災情報や氣象庁の予報に基づき、事前に対応について体制を確認し、今回同様、急激な豪雨にも対応できるように早めの水門操作と巡回を実施していく。

また、日常の点検と施設に不具合等があれば修繕を行うなど、適切に対応していく。

◎教員の労働環境及び教育環境について

◎市政懇談会について

タイムライン(事前防災行動計画)について

佐久間 儀郎



説明されている。

【質問】国土交通省では2021年度までにタイムライン策定を求めている。

この計画は、地域防災計画で定められている災害対応を「いつ」「誰が」「何をするか」に着目し、防災行動とその実施主体を時系列で整理したものである。

その効果は、①災害時に実務担当者は「先を見越した早めの行動」ができる。また、意思決定者は「不測の事態の対応に専念」できる。②「防災関係機関の責任の明確化」「防災行動の抜け、漏れ、落ちの防止」が図られる。③防災関係機関で「顔の見える関係」を構築できると

多くの効果が期待できるタイムラインを策定すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

【答弁】【市長】本市では初動における「災害時初動マニュアル」等を作成しており、タイムラインに近いマニュアルに基づき対応をとっている。台風19号における対応を教訓に改善を図ることで、よりタイムラインに近いマニュアルに基づいた対応ができるよう努めていく。

【質問】平成27年9月関東・東北豪雨の洪水被害を教訓に国土交通省等が始めた住民一人一人のタイムラインである「マイ・タイムライン」を作る取り組みが注目されている。

時間的な制約が厳しい洪水発生時に行動のチェックリストとして、また、判断のサポートツールとして活用することで「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待されている。

本場に助けが必要な災害弱者に救助を集中させるためには、こうしたツールを活かし、逃げられる人は事前に避難を徹底すべきと考えるがいかがか。

【答弁】【市長】今回の災害で自助・共助という部分が、大きな力となることを行政側として感じた。自分の命は自分が、家族の命は家族が守る。そういったそれぞれの家庭内での防災力を高める上で、非常に重要なツールであるという認識を抱いている。今後、さまざまな角度から検討を進めたい。

【その他の質問】

◎災害復旧事業について

農山漁村再生可能エネルギー法の活用について

松野 久郎



ている。

【質問】現在、市内で再生可能エネルギー発電を行なっている法人はどの程度あるのか伺う。

【答弁】【企画情報課長】本市で制定する指導要綱に基づき、協定を締結した事業者は5社、設置箇所数は6カ所、農地転用申請で把握している事業者は6社・8カ所、その他、小規模風力発電が1社・1カ所となっている。

【質問】行政として、区域における施設整備の基本計画策定が必要と考えるがいかがか。

【答弁】【市長】再生可能エネルギーは、本市においても今後必要不可欠なものであると認識し

区域における施設整備の基本計画策定の必要性については、国及び県、他市町村の情報収集を進め、国の動向を注視していく。

【質問】農山漁村再生可能エネルギー法を本市も適用し、活用すべきと考えるが、市長の所見を伺う。

【答弁】【市長】行政としての責務は大変重要と考えることから、今後も情報収集に努め、さまざまな角度から検討させていたたく。

◎人口減少対策について

【質問】本市の出生率と婚姻届受理した数について、直近5年間の傾向を伺う。

【答弁】【市民課長】出生率は平成26年度と比較し、0.8パーミル減少(出生

生数にして38人減少)、婚姻届受理数は34件の減少となっている。

【質問】人口減少対策としてさまざまな対策を講じてきたが、その経緯と成果を伺う。

【答弁】【市長】子育て支援、教育環境の整備、移住・定住の促進など独自性を持った事業を多面的に推進してきた。今後少子化対策・人口減少対策を継続的に展開していく。

【質問】待機児童の解消は最緊急の施策が必要と考えるが、市長の所見を伺う。

【答弁】【市長】令和3年4月開園予定の民設民営による新深谷保育園においては、市の提案で現在の定員50名から90名としている。

また、来春に開園予定の小規模保育事業所においては、募集定員12名を予定していることから、開園を広く周知していきたい。

今後、刈田総合病院をどのように支えていく方針なのか

伊藤 勝美



〔質問〕白石市民の安全安心を担っている刈田総合病院の置かれている現状について、どのように理解されているか伺う。

〔答弁〕〔市長〕刈田総合病院は、本市はもちろんのこと、仙南2市7町17万1千人の仙南医療圏において中心を担う、なくてはならない存在である。また、地域住民から頼られ、住民の健康を守るとりでもあり、存在意義は非常に大きいものがあると思っ

ている。しかし、病院経営は、構成市町からの繰り入れにより財政補填され維持されている実情があることから、公立病院

の責任を果たしつつ、自立した経営を目指して必死の努力を続けているところであり、本市としても全力で支えていかなければならない重要課題であると考えている。

〔質問〕刈田総合病院における経営責任者は誰なのか確認する。

〔答弁〕〔市長〕刈田総合病院の最高経営責任者は管理者であると考えている。

〔質問〕刈田総合病院の最大出資者である白石市は、今後、病院をどのように支えていく考えなのか。

特に、負担金や補助金など繰出金による財政支援に対する市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕これまで多額の財政支援を行い、病院を支え続けてき

た。それは、その財源である市の財政調整基金が十分にあったため支援ができたわけだが、本市の財政状況は非常に厳しく、今までのような財政支援を行うことは困難となっている。

そこで、これまでも刈田総合病院には、一企業体として頑張っていたが、構成員の財政状況を勘案し、さらなる企業努力、経営改善をしていかなければならないと考えている。

また、市としては、病院の経営を何とか安定させるため、さらなる支援を求めるために、厚生労働省や総務省、官邸、地元国会議員等にも直接要望を行い、全力で努力をしている状況である。

【その他の質問】

◎台風被害の影響と対策について

◎人事行政の運営状況について

関係人口について

菊地 忠久



〔質問〕関係人口とは、定着する移住・定住人口でもなく、観光にきた一過性の交流人口でもない、その中間に位置する地域と多様に関わる人々を指す。

関係人口に対する所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕地域力の維持、強化のための地域づくりの担い手育成や移住交流の促進による将来的な定住人口増加も期待できることから、利点は大きいものと認識している。

〔質問〕次期総合計画や総合戦略に明記し、積極的に関係人口を増やす取り組みをすべきと考えられるかがか。

りは人づくりと言われるように、人材育成が非常に重要になる。地域課題解決のため、関係人口の存在が直接的、間接的に大きな役割を果たすことを期待している。

第六次白石市総合計画並びに第2期白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、関係人口に係る取り組みを重要政策と位置づけ、積極的に推進していくことが必要であると認識している。

〔質問〕ふるさと納税寄附者に対して、SNSなどを通じ情報発信し、関係人口拡大に努めることが重要と考えるかがか。

〔答弁〕〔市長〕ふるさと納税寄附者や本市出身者、勤務経験者など、本市につながるや思い入

れがある方々を対象に、SNSをはじめとした各種メディア・ネットワークを通じた情報発信、コミュニケーションなど、関係人口の拡大に向けた受け皿づくりや関係人口の活躍促進事業を総合計画及び総合戦略の施策として位置づけることを検討している。

〔質問〕具体的を考えているものはあるか。

〔答弁〕〔市長〕各種情報発信に加え、地域でのボランティア活動や地域イベントの参加、自然体験や農業体験、若者世代を対象としたインターシップなどのファンづくり、都会と都市の2地域を目指した副業兼業の紹介、サテライトオフィスの開設支援などが考えられる。

【その他の質問】

◎白石市中学生議会について

◎台風19号による災害について

台風19号について

森 建人



〔質問〕台風19号は広い範囲で記録的な大雨となり、想像を超える被害が東日本各地で起こった。

本市でも甚大な被害が発生したことから、今回の被害を教訓とし、これからも起きるであろう災害の防災・減災に努めなければならぬと考える。

上回る総降水量365ミリの記録的な大雨となったことが要因と考えている。

〔質問〕台風19号に関する情報発信方法を伺う。

〔答弁〕【危機管理課長】緊急速報メールやエリアメール、しろいし安心メールのほか、宮城県総合防災情報システムに避難所の開設状況、避難勧告などを登録することでテレビやラジオから情報が流れ、市のホームページにおいても情報発信を行なった。

〔質問〕福祉避難所があるのか伺う。

〔答弁〕【危機管理課長】福祉避難所は、災害時に必要に応じて設置される避難施設であり、一般の指定避難所での対応が困難な要援護者のために、市内16福祉施設

と災害時における要援護者の受け入れ等の協力に関する協定に基づき、受け入れ先施設の被害状況や受け入れ可能状況を把握した上で、受け入れの協力をお願いしているところである。

もし、福祉避難所が必要であれば、各避難所から無線等の報告をいただき、その対応に当たることになるが、今回は避難所からの要請がなかったことから、福祉避難所は開設していない。

〔質問〕河川の監視カメラはあるのか伺う。

〔答弁〕【危機管理課長】七ヶ宿ダムの監視カメラ2台から白石川のライブ映像が確認できる。

また、監視カメラ以外にも、河川水位計が国、県において10カ所の河川に設置されていることから、水位情報を利用して避難の状況判断に活用している。

旧白石衛生センター第二事業所について

佐藤 秀行



〔質問〕昭和56年に供用を開始し、平成14年に廃止になるまで約21年間稼働した旧白石衛生センター第二事業所は、福岡弥治郎地区にその廃止から約17年間、そのままの状態施設があり、老朽化が進んでいる。

早期に解体を検討すべきではないかと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】本施設は老朽化が進んでおり、解体すべきものと考えている。

しかし、解体には多額の費用がかかり、本市の現在の厳しい財政状況から、今すぐの解体は困難である。

防止パネルなどの設置について、管理者である仙南地域広域行政事務組合と協議していくとともに、定期巡回の強化についても要請していきたい。

◎白石川緑地公園のトイレについて

〔質問〕白石川緑地公園のトイレ改築について、第425回定例会で一般質問しているが、その後の進捗状況を含め、今後の取り組みを伺う。

〔答弁〕【市長】老朽化により塗装が大分傷んでいることから、市民が快適に利用できるよう、外観の改修と合わせて簡易水洗化への改善を令和2年度の実現に向け、前向きに検討していきたい。

◎仙台大学との連携について

〔質問〕仙台大学との連携や交流を深めていくことは、地域の活性化、交流人口の増加につながると考える。

教育の分野における連携について、例えば各中学校の現状、実情を踏まえ、その要望に応じて仙台大学の学生に来ていただき、部活動の指導をしていただけないものか。

先生の仕事の負担軽減、生徒と向き合う時間の確保が図られるのではないかと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】本年度より2名の部活動指導員を配置しているが、今後は、国の制度を活用しながら、連携を検討していきたいと考える。

何より現場のニーズに添えていくことが大切であることから、各校の要望を吸い上げながら、今後さらに仙台大学との協議を進めていきたい。

避難場所について

大森 貴之



ら支援いただくものもある。

〔質問〕指定避難所一覧（風水害）において、台風と大雨の際には避難所として不適切ではないかとの意見が寄せられていた白石中学校等も初動期より開所している。

乳児用液体ミルクについては、以前の一般質問の際「協定先からの話として、在庫状況等により要請に応えられない場合もある」と伺っている。」との答弁をいただいた。

今後の避難場所の選定に当たり、風水害時にはこれらの施設は除外されるものと考えてよいのか伺う。

現在、粉ミルクも備蓄品にはなく、場合によっては粉ミルクの到着が遅れることも想定すべきではないかと考える。

〔答弁〕〔市長〕初動期における開設場所については、白石市防災会議にて検証を行い、地域防災計画に反映していく。

◎災害用備蓄品について

〔質問〕本市においては、災害用備蓄品は協定書リストにより協定先か

液体ミルクは、災害発生直後から水道、ガス等が復旧するまでの活用が最も期待される。乳児用液体ミルクの備蓄をあえて要望するが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕備蓄については、引き続き、既に導入している自治体や

近隣自治体の導入状況と諸課題を慎重に検討した上で判断をしていきたい。

◎緊急連絡方法について

〔質問〕東日本大震災の時も非常に有効だったラジオ放送の活用を、さらに検討していくべきと思うが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕本市では、エフエム仙台と非常災害放送に関する協定を締結しているが、災害時における伝達手段については、あらゆる広報媒体を利用して、有効、適切な広報に努めていく。

〔質問〕市内何力所かで難聴地域が存在するが、対策は検討しているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕難聴地域という部分に関しては把握し切れていない部分もあることから、今後検討させていただきたい。

【その他の質問】

◎用水路等について

◎白石スキー場について

議会を傍聴してみませんか！

2月定例会は、2月19日(水)午前10:00開会予定です。

定例会は、年4回(2月・6月・9月・12月)開催されます。市の予算や決算、条例など、市民のみなさんに深く関わりのある議案が審議されます。

また、市議会では、インターネットによる中継を行なっています。議場で行われる本会議(議案審議・一般質問など)や予算審査をライブ中継や録画映像で視聴できます。

●12月定例会の傍聴者数 126人 ●ライブ中継・録画の視聴者数 1,218人



改選後の議会広報委員会委員

市民の皆さまにわかりやすい「議会だより」をお届けします。

●前列(右から)

四電 英夫 委員長

平間 知一 副委員長

●二列目(右から)

佐藤 龍彦 委員

高橋 鈍斎 委員

大森 貴之 委員

伊藤 勝美 委員

●三列目(右から)

高子 秀明 委員

森 建人 委員

角張 一郎 委員

白石市中学生議会が開催されました

議会では、若い世代に市政への関心を高めてもらうため、議員による実行委員会を組織し、白石市・白石市教育委員会に協力をいただき「白石市中学生議会」を令和元年11月23日に開催しました。

市内全4校の生徒代表23人が出席し、2人が議長及び副議長を務め、21人が市議会議場の質問者席に立ち、市政の課題に対する質問や提言等について、市長をはじめとする市当局に投げ掛け、議論を深めました。質問・提言された事項は次のとおりです。



中学生議員による質問の様子

●議長(白石中学校)

村上 夢果 さん

●副議長(東中学校)

狩野 陸人 さん

●白石中学校(1班)

八嶋 彩乃 さん

「農林業を中心とした産業の活性化について」

八島 友香 さん

「白石市の観光産業の在り方について」

片倉 彩 さん

「白石市内の生活環境整備について」

●白石中学校(2班)

舟山 徹平 さん

「防災無線の整備について」

深田 凪人 さん

「少子化と育児環境について」

小川 愛加 さん
「白石市の移住定住政策について」

●福岡中学校(1班)

片平 絵理 さん

「長期休業中のスクールバスについて」

高橋 昊汰 さん

「スクールバスの区域拡大について」

高子 空 さん

「学力向上のための自習スペース設置について」

●福岡中学校(2班)

衣川 冬華 さん

「施設の老朽化について」

片平 珠梨 さん

「住民からの白石市の魅力発信について」

八巻 久遠 さん

「白石城施設内の活性化について」

●小原中学校

齋藤 環成 さん

「白石市内の商業施設について」

仙石 和樹 さん

「白石駅前の活性化について」

高橋 春音 さん

「白石市民バスについて」

●東中学校(1班)

松野 美咲 さん

「白川地区の白石市民バス利用について」

小島 歩翔 さん

「地域「ミニ」ティー活性化事業について」

佐藤 光流 さん

「学力向上プログラムについて」

●東中学校(2班)

長山 紗英 さん

「商店街の活性化について」

菅原 彩加 さん

「保育園について」

西谷 由奈 さん

「白石市の出産育児について」

また、「白石市中学生議会」の開催にあたり、実行委員会の議員が各中学校へ訪問し、議会についての説明や質疑応答を行いました。



中学校訪問の様子 (左:白石中学校 右:小原中学校)

第6回市民と議会の意見交換会を開催します！

白石市議会では、市民の皆さまに開かれた議会を目指していくため、第6回目の意見交換会を休日に開催します。

今回は、議員18名が9名ずつ2班に分かれ、市内8公民館に出向いて行います。

当日は、常任委員会ごとに分かれ、それぞれのテーマに沿って、ワークショップ形式でご意見をいただきます。 皆さまのご参加をお待ちしています。

【開催日時】 令和2年3月22日(日)、28日(土)
 午前の部 午前10時～午前11時30分
 午後の部 午後2時～午後3時30分
 ※各会場での受付開始は、それぞれ開始時刻30分前からです。
 ※申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

【開催内容】 市民との意見交換 ※それぞれの委員会ごとに自由に移動して懇談ができます。
 ・総務産業建設常任委員会
 テーマ：災害に強いまちづくり
 ①水害対策について ②避難所のあり方について
 ・厚生文教常任委員会
 テーマ：健康・福祉、子育て、教育について
 ～一緒に未来を考えましょう！！～

【班編制と会場】 ※（総務産建）＝総務産業建設常任委員会、（厚生文教）＝厚生文教常任委員会

		3月22日(日)		3月28日(土)	
1 班		10:00～11:30	14:00～15:30	10:00～11:30	14:00～15:30
班 長	菊地 忠久 (総務産建)	白川公民館 (集会室)	大鷹沢公民館 (集会室)	中央公民館 (第1・2講座室)	大平公民館 (集会室)
副班長	平間 知一 (厚生文教)				
班 員	高橋 鈍斎 (総務産建)				
班 員	小川 正人 (総務産建)				
班 員	保科善一郎 (総務産建)				
班 員	森 建人 (総務産建)				
班 員	伊藤 勝美 (厚生文教)				
班 員	高子 秀明 (厚生文教)				
班 員	松野 久郎 (厚生文教)				
2 班		10:00～11:30	14:00～15:30	10:00～11:30	14:00～15:30
班 長	佐藤 秀行 (厚生文教)	越河公民館 (集会室)	斎川公民館 (集会室)	福岡公民館 (集会室)	小原公民館 (集会室)
副班長	大野 栄光 (総務産建)				
班 員	大森 貴之 (総務産建)				
班 員	澁谷 政義 (総務産建)				
班 員	角張 一郎 (総務産建)				
班 員	佐藤 龍彦 (厚生文教)				
班 員	沼倉 啓介 (厚生文教)				
班 員	佐久間儀郎 (厚生文教)				
班 員	四竈 英夫 (厚生文教)			※深谷地区の方は、 福岡公民館へお越し ください。	

- 議会広報委員会 委員**
- 委員 長 四竈 英夫
 - 副委員 長 平間 知一
 - 委員 大森 貴之
 - 委員 佐藤 龍彦
 - 委員 伊藤 勝美
 - 委員 高橋 鈍斎
 - 委員 高子 秀明
 - 委員 森 建人
 - 委員 角張 一郎

議会広報委員会 副委員長 平間 知一

今年の世界中が注目するオリンピックの年であります。また、議会では幼稚園やスパシユランドなど公共施設の案件についての議論が活発であり、「市民のため」なのか否かをしっかりと見極めていかなければならない年でもあります。

この議会だよりが市民の皆さまの判断の一助となれば幸いです。

今回、議会広報委員会の副委員長に選任され、責任の重大さを感じる中、これからもより詳細で明確な議会報告を一人でも多くの皆さまにお届けできるよう、委員一丸となって取り組んでまいります。

編集後記